



【 「教育実践発表会」：学校教育目標を目指して 】

- 井波小学校では、学校教育目標「**未来を拓く井波っ子**」の育成を目指して、「**井波教育A『生き方教育』**」を行います。その具現化として、「**井波学①『追究学習』**」を実践します。受け身でなく、**自分の課題や願いに向けて、失敗しても自分の力で積極的に取り組み、取り組み方も自分で決める**という「**一人学習**」を重視します。そして、適宜、「**聴き合い学習**」を取り入れ、**仲間の発言を聴いて自分の考えを見直し、次に歩み出します**。キーワードは、「**自己決定**」「**子供は有能な学び手**」「**教師は支援者**」です。
- これは、約30年前に11代校長の四辻利弘先生がおられたときに、**井波小学校で実践していた教育や学習**です。同時に、これは現在、中央教育審議会で歌われている「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」を一体化して行う趣旨と合致しています。また、今の学習指導要領の趣旨である「**子供が主語**」とする学習と合致しています。
- 井波小学校では、昨年度からこのような考えで実践するよう努めており、今年度は充実させていく年です。そのためには、**教員の自己研鑽、研修、授業力アップ**が不可欠です。教員の本務は、「**子供が育つ学級・授業づくり**」だからです。
- そこで、井波小学校では、**11月18日（金）午後、「教育実践発表会」**を開催して、他校の教員に参加を呼びかけ、井波小学校の二つの追究学習を公開します。そして、井波小学校の追究学習を参観していただき、ご意見を聴いて学びを深めます。
- 中央講師として、**奈須正裕先生（上智大学 総合人間科学部教育学科 教授）**をお招きし、井波小学校の教員や参観者に講演をしていただきます。奈須先生は、「中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会委員」であり、**日本の教育会の第一人者**です。複数の教育雑誌の連載や、多数の書物も出しておられます。奈須先生から、井波小学校の実践について指導をいただくことで、教員の授業力向上が実現すると思っています。それが、**井波小学校の質の高い教育**となって、**子供たちに返ると信じています**。これは、私が四辻校長先生から「**子供が力強く育つ**」ための教育（授業）について学んだ経験と、**子供が育つ事実**がバックボーンにあります。**井波小学校の教員と子供が育つ、井波小学校が発展すること**を強く願って取り組み続けます。

